

VOL.
121

日赤の
森 2026
August

【診療科トピックス】

患者さん一人ひとりに合わせた治療（3面）



高槻赤十字病院 やすらぎホール

音楽が届けた癒しのひととき（5面）

www.takatsuki.jrc.or.jp



高槻赤十字病院 院長
玉田 尚

日本赤十字社は、今後も病気で苦しんでいる人々や災害による被害に直面している人々を救うため、勇気と希望をもって活動を続けます。

今年は6月からサッカーのワールドカップがあり、日頃スポーツに関心が薄い人でも思わずテレビ中継に見とれてしまい、大きな声で応援した方も多かったのではないのでしょうか。日本は1993年に「ドーハの悲劇」といわれる出来事を経験しました。日本のサッカーに、今日のように世界のクラブで活躍する選手が増え、これほどまでに強くなったのは、多くの選手の悔しい思いと不断の努力の結果であったと思います。33年たってワールドカップへの出場は当たり前になり、さらに決勝トーナメントへも連続して出場できるくらいまで実力がついてきました。

さて、33年間といいますと人の一生では社会人として最も活躍できる期間に相当します。医療もこの間にレベルが大変向上しました。思い返すと私の専門である肝臓の領域では難治性の疾患であったC型慢性肝炎は、現在では内服薬によって多くの方で治癒が可能となりました。また、日本ではB型肝炎も、母子感染予防や乳児期のワクチン接種の普及により、新たな感染が大きく減少し、将来的な排除が期待される疾患になってきました。多くの人たちによる地道な医学研究や臨床医療での不断の努力の積み重ねによりその他の多くの病気も治療可能になってきました。ところが医学が発展する反面、世界に目を転じるとウクライナでの戦争は5年目に入り、中東での紛争でもいまだに多くの方々が傷ついたり亡くなったりしています。医療人としては本当に胸が痛みます。

来年5月には日本赤十字社は創立150周年を迎えます。19世紀にアンリー・デュナンにより赤十字運動が起こり、幕末に行われたパリ万博を契機として佐賀藩士であった佐野常民たちの情熱により、明治時代に日本赤十字社の前身である博愛社が設立されました。この長い歴史を思い起こし、初心に立ち返り、日本赤十字社は今後も病気で苦しんでいる人々や災害による被害に直面している人々を救うため、勇気と希望をもって活動を続けたいと思います。

患者さん一人ひとりに
合わせた治療

ライフステージや生活背景に合わせて治療を選択する

糖尿病治療は、単に血糖値を下げるだけではなく、「将来の合併症を防ぎ、その人らしい生活が続けること」を目標とする時代になっています。そのため、年齢や体格、腎機能、インスリン分泌能だけでなく、ライフステージや生活背景に合わせて治療を選択することが大切です。

現在は多くの糖尿病治療薬があり、それぞれ特徴が異なり、個人個人に合わせた選択もできるようになってきています。近年では、SGLT2阻害薬やGLP-1受容体作動薬など、血糖改善に加えて心臓、血管や腎臓を保護する効果が期待できる薬が広く使われています。特に心血管疾患や腎障害のリスクが高い方では積極的に選択されます。一方で、体重減少や筋力低下を考慮する必要がある高齢者ややせ型の方などはDPP-4阻害薬やイメグリミンなど、患者さんの状態に応じた薬剤を選択します。

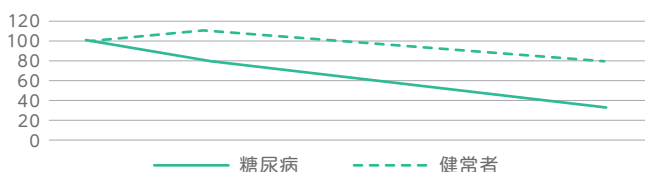
また、治療目標も年齢によって異なります。若い方では将来の合併症予防を重視し、血糖値や

HbA1cをできるだけ良好に保つことを目指します。働き盛りの世代では、仕事や生活リズムを考慮し、無理なく継続できる治療を選ぶことが重要です。

高齢者となると、認知機能や日常生活の自立度も低下するため、目標値にとられすぎて食事制限など管理を徹底することはかえって「生活の質」を落とすことにもつながります。また、高齢者となると糖尿病の経過も長く、腎機能やインスリン分泌能の低下した方もおられ、インスリンなど低血糖のリスクのある糖尿病薬を使用することがあります。そのためこうした高齢者の糖尿病は若年者よりも血糖値の目標をゆるやかに設定して治療を行います。

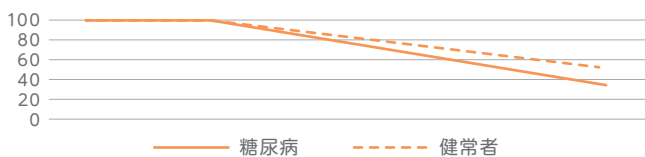
当科では、「患者さんが何を大切にしたいか」を重視し、十分な説明と対話を通して、一人ひとりに最適な治療法を一緒に考えています。合併症の予防と生活の質の向上を両立し、安心して長く治療を受けられる医療を目指しています。

糖尿病の経過（発達期を100）

インスリン
分泌能

発症年齢によって違いあり、食習慣が乱れたり、運動習慣が不足すると低下する速度は速くなります。

腎機能



血糖値が高いのが続くと低下する速度は速くなります。低下する速度を遅くする糖尿病薬もあります。

血糖管理の
厳密さ

高齢者になると、認知機能、日常生活の自立度、基礎疾患などによって血糖管理を緩めます。

発達期



糖尿病の発症を予防する。

青年期



コントロールして合併症を予防し進行させない。

成人期



仕事や出産、育児と治療を両立させる。

熟年期



感染症を重篤化させない。がんを早期発見する。

老年期



健康寿命を延ばす。

地域医療連携機関として登録をいただいている医院をご紹介します。
今後も各先生方との連携を深め、地域住民の皆様の健康を支えていきたいと思ひます。

登録医療機関のご紹介

おおにしクリニック

〒569-0814 大阪府高槻市富田町1丁目18-14 STマンションⅢ 1F

TEL: 072-668-1421 HP: <https://www.onishi-cl.com/>



大西 雅彦 院長

◎院長 大西 雅彦 先生からのメッセージ

日本では高齢化が進み、認知症は誰にとっても身近な問題となっています。かつては遠い存在として捉えられていましたが、現在では多くの方がその影響を実感する時代となりました。医療の進歩や介護制度の整備により支援体制は充実してきた一方、患者本人はうまくいかない状況に戸惑い、いら立ちを抱えながら生きています。また、そのそばには支えながらも疲れや孤独を感じる家族の姿があります。私たちは認知症専門クリニックとして、こうした患者と家族に寄り添い、地域の中で支える存在として活動してきました。今後も「街の応援団」として、誰もが安心して暮らし続けられるよう支援していきたいと考えています。

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	●	●	—	●	●	◎
検査・相談13:00~16:00	●	●	—	●	●	◎
16:00~17:00	●	●	—	●	●	◎

◎…第2・第4土曜のみ診療

当院の診療は予約制です。事前にお電話にてご予約ください。

※休診日：水曜・日曜・祝日



登録医療機関のご紹介

医療法人 高原クリニック

〒567-0868 大阪府茨木市沢良宜西1丁目1番3号 南茨木第2阪急ビル4階

TEL: 072-633-9029 HP: <https://www.takaharacclinic.jp/>



◎院長 高原 健 先生からのメッセージ

本クリニックでは、透析を受けられる患者様一人ひとりが安心して充実した透析生活を送れるよう、きめ細やかな支援を提供しています。阪急京都線・大阪モノレール南茨木駅前に位置し、公共交通機関での通院に便利なほか、車いす対応の送迎車も完備しています。外来維持透析の開始に際しては、現在の医療機関や介護施設と連携し、円滑な移行を支援するとともに、事前見学や丁寧な説明を通じて患者様やご家族の不安解消に努めています。また、専門的な知識と技術に基づく安全で安定した透析治療を提供し、合併症予防や急変対応にも取り組んでいます。ご家族や介護関係者とも連携し、連絡ノートなどを活用した情報共有を行うことで、継続的な支援体制を構築しています。さらに、旅行や帰省時の臨時透析にも対応しており、安心して日常生活を送れる環境づくりを目指しています。

【外来診療時間】

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	—
16:00~18:00	●	—	●	—	●	—	—

※休診日：祝日・日曜・年末年始

糖尿病外来 金曜日 9:00~12:00

循環器外来 第3水曜日 9:00~12:00

透析科 月~土曜日 8:00~18:00



紹介患者専用受付を 開設しました

このたび、かかりつけの先生方との連携をさらに強化し、紹介患者さんをスピーディに診療へつなげ、安心して医療を受けていただくことを目的に「紹介患者専用受付」を開設しました。

当院を受診される際は、かかりつけ医からの紹介状をご持参のうえ、事前にご予約いただきご来院ください。

今後も病院一丸となり、地域に根ざした医療の提供に努めてまいります。



Summerコンサートを 開催しました

令和8年6月29日、緩和ケア病棟「やすらぎホール」にて、ヴァイオリン奏者の中村 晴さんとピアニストの韓 吏花さんをお迎えし、Summerコンサートを開催しました。

当日は、ドヴォルザークの《ユモレスク》やブラームスの《間奏曲》、フランクの《ヴァイオリン・ソナタ》などが演奏されました。ヴァイオリンの豊かな音色とピアノの美しい響きが会場を包み、来場された皆さまに優雅なひとときをお楽しみいただきました。

当院では、これからも院内で心安らぐ時間を過ごしていただけるよう、さまざまなイベントを企画してまいります。



地域とともに歩む医療 出前講座で広げる健康づくり



山手台健康フェスタ

(出前講座:高齢長寿に関連する食事)



三島コミュニティセンター

(出前講座:日常の中での災害対策)



ラガール茨木

(出前講座:肺がんについて)

高槻赤十字病院では、地域の皆さまの健康づくりを支える取組として、医療職が地域へ出向く「出前講座」を実施しています。健康講話や防災、疾病予防など、日常生活に役立つ内容を分かりやすくお伝えし、多くの地域住民の皆さまにご参加いただいています。今後も本活動を通じて、地域の皆さまの健康づくりと安心して暮らせる地域社会の実現に貢献してまいります。



令和7年度患者満足度調査結果報告

高槻赤十字病院・患者サービス向上委員会

患者の皆さんが当院の医療や患者サービスに対してどのように評価し、また、どのような医療・サービスを必要としているかについてご意見をいただき、より信頼される医療の提供を行っていくため、入院および外来患者さんを対象に患者満足度調査を実施しました。



入院満足度調査実施の状況

- 1) 調査日：令和7年9月上旬～500部配布終了まで
- 2) 調査票：回答者180名（回収率36.0%）

※グラフの値は小数点第1位で四捨五入しています。

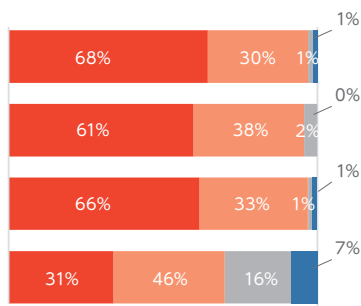
病院の環境

あなたの病室とトイレは清潔に保たれていましたか

プライバシーへの配慮は十分でしたか

安全に医療サービスが行われていると感じましたか

食事内容として満足のいくものでしたか



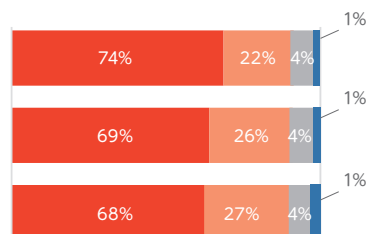
■常にそうだった ■大体はそうだった ■時々はそうだった ■一度もそうではなかった

職員の対応

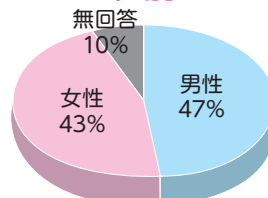
職員は礼儀と敬意をもってあなたに接しましたか

職員はあなたの話を注意深く聴きましたか

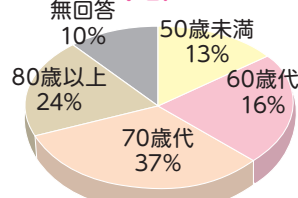
職員はあなたに分かりやすく説明をしましたか



性別



年齢



外来満足度調査実施の状況

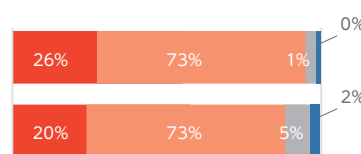
- 1) 調査日：令和7年9月9日（火）～200部配布終了まで
- 2) 調査票：回答者200名（QRコードによる回答も受付）

※グラフの値は小数点第1位で四捨五入しています。

病院の環境

外来待合はどの程度清潔でしたか

外来トイレはどの程度清潔でしたか



■大変清潔だった ■まあまあ清潔だった ■清潔でなかった ■決して清潔でなかった

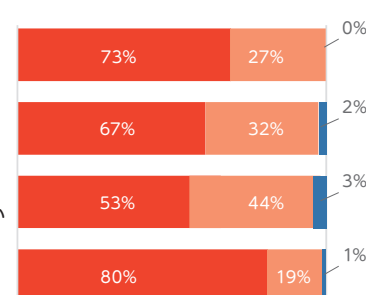
職員の対応

職員はあなたに誠実に対応しましたか

健康状態や治療方針について話しているとき、職員はプライバシーに十分配慮しましたか

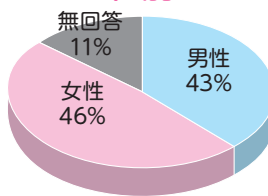
あなたの意思が治療方針に十分反映されたと感じましたか

職員の対応は親切・丁寧な対応でしたか

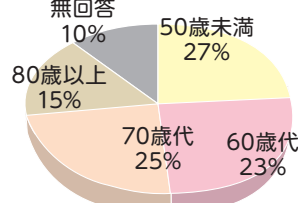


■はい、十分に ■はい、ある程度は ■いいえ

性別



年齢



調査結果への対応

この度は患者満足度調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

今回の調査では、職員の対応や説明について概ね良好な評価をいただきました。一方で、入院中のコミュニケーションやナースコール対応、外来・病棟の環境整備、情報提供の充実などについて改善を求めるご意見をいただきました。

当院では、患者さんに安心して療養・受診していただけるよう、より丁寧な説明と接遇の向上に努めるとともに、院内環境の改善や患者支援の充実に取り組んでまいります。

今後も皆さまからいただいたご意見を大切に、病院全体で医療サービスの質向上に努めてまいります。

第30回 日本赤十字社第4ブロック合同災害訓練に参加しました

京都府宇治市・京都府立山城総合運動公園 令和8年6月6日開催

【訓練の概要】

令和8年6月6日、京都府宇治市の京都府立山城総合運動公園で、第30回日本赤十字社第4ブロック合同災害訓練が開催されました。高槻赤十字病院からは救護班1班と指導者・スタッフを含む計12名が参加し、近畿各府県の赤十字関係者と連携しながら実践的な訓練に取り組みました。訓練では、生駒断層を震源とするマグニチュード7.5の直下型地震を想定し、避難所巡回、臨時救護所の運営、傷病者対応などを実施しました。参加者は刻々と変化する状況への対応や、多職種によるチーム連携の重要性を再確認し、災害医療に必要な知識と技術の向上を図りました。日本赤十字社では、こうした訓練を通じて災害対応力の強化と自治体等との連携推進に努めています。当院も地域の皆さまの安全と安心を支えるため、今後も災害への備えと体制整備に取り組んでまいります。

【防災ワンポイント】

災害は突然発生します。飲料水や非常食、常備薬の備蓄、避難場所の確認など、ご家庭での備えをこの機会に見直してみましょう。



開会式



救護所での救護の様子



避難所への巡回診療訓練

家庭で役立つ薬の話

貼り薬は局所作用とは限りません

薬剤師 山村 裕佳子

腰痛でジクトルテープ®75mgが処方された患者さんが、こんなつぶやきをされました。「説明を聞いてもピンとこないんだ…腰が痛くてもらった痛み止めの貼り薬なのに、貼る部位は腰だけじゃないの？」

◆処方内容は以下の通りです。

Rp. ジクトルテープ®75mg 1日1回 1回1枚 7日分

添えられた薬の説明書には「胸、お腹、上腕、背中、腰または太ももに貼ってください。皮膚への刺激を避けるために、貼り替えるときには、前回と異なる場所に貼ってください。」とありました。ジクトルテープ®75mgは皮膚から有効成分が吸収され、血液中に入り「全身に作用して」痛みを和らげるお薬です。この事例のように全身作用を目的とする貼り薬もあります。

「そうなんだ。今回の貼り薬は痛いところに貼るんじゃなくて、薬を吸収させるところに貼るんですね」

患者様はジクトルテープ®75mgの外観が局所作用のテープ剤(痛いところに貼る湿布)と類似していたため、混乱されていたようですが、薬剤師からの説明を受け疑問が解決されたようでした。

整形外科でよく処方される湿布剤やテープ剤は、痛い部位に貼ることで局所に作用し効果を発揮します。ですが、全身作用のあるジクトルテープ®75mgは、同じ感覚で痛い部位に貼ってしまうことで、薬が吸収されず効果が得られなかったり、決められた枚数を超えてたくさん貼ってしまうと副作用のリスクが高まるので注意が必要です。もちろん局所作用の貼付剤であっても、貼りすぎては副作用のリスクが高まることは言うまでもありません。

お薬は薬剤師からしっかり説明を聞いて、正しくお使いください。

おすすめ レシピ

・里芋の鶏じゃが風

材料(2人分)

里芋(皮をむいた状態) 300g
鶏もも肉(皮付き) 150g
玉ねぎ(1/2個) 150g
にんじん(1/2本) 100g

サラダ油(大さじ1/2) 7g
薄口醤油(大さじ1) 15g

水だし(または水) 300ml
酒(大さじ1) 15g
みりん(大さじ1) 18g
砂糖(大さじ1/2) 5g

作り方

- ①里芋は皮をむき、一口大に切る。耐熱容器に入れ、ふんわりラップをして電子レンジ600Wで2分半ほど加熱する。ぬめりを取るためにサッと水洗いする。
- ②鶏もも肉は一口大に切る。玉ねぎはくし切りにする。にんじんは乱切りにする。
- ③鍋にサラダ油を入れ中火で熱し、鶏肉を入れて炒める。
- ④玉ねぎ、にんじんを入れてさらに炒める。玉ねぎに透明感がでてきたら、①の里芋とAを入れてひと煮立ちさせてアクを除く。落とし蓋をして弱めの中火で5分煮る。
- ⑤薄口醤油を加え、再び落とし蓋をして5分煮る。
- ⑥落とし蓋を取り、鍋をゆすりながら軽く煮詰める。

※冷凍里芋を使用する場合、凍ったまま鍋に入れる。
※水だし…水500mL、昆布10gを密閉できる容器に入れ、冷蔵庫で一晩おく。3〜4日で使い切る。

一人分 エネルギー 422kcal 炭水化物 42.9g たんぱく質 17.9g
脂質 18.2g 塩分 1.4g 食物繊維 5.6g



ひとくちメモ

里芋は縄文時代に渡来したとされ、平安時代には最も身近な芋類でした。中秋の名月(旧暦8月15日の夜に見える月)は、日本では農業行事と結びつき「芋名月」とも呼ばれます。里芋150gはご飯50gと同程度のカロリーがあるため、ご飯は控えめにしましょう。



ありがとうございました。 一令和7年のご寄付一

◎寄付金総額 28,571,630円
(法人3団体)(個人28名)

【医療機器の一部紹介！】

医療機器の整備として、手術室で使用している手術台の更新整備を行いました。

この手術台は、優れた拡張性を持ち、様々な手術体位に適応できます。また、患者さんの安全と、手術に携わるメディカルスタッフの支援を考慮して、充実の安全機能を標準装備しております。

当院は、良質で安全な医療を提供し、地域の方々に信頼される病院となるよう努めてまいります。



競輪補助事業完了のお知らせ

この度、令和7年度公益財団法人JKA 補助事業の補助金を受け、以下の事業を完了いたしました。

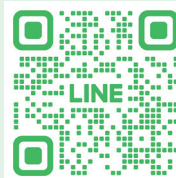
本事業の実施により、今までにない防振ベッドを装備したことで、傷病者の体重に合わせ最適な空気量を調整して、加速度による揺れを吸収し、ブレーキ時の頭下がり防止します。左右にベッドがスライドすることで、一方からでなく両サイドから処置などが可能となります。転院に際しては、迅速かつ安全に搬送できました。今後も緊急搬送等においては、安全運転を心掛けてまいります。

事業名	令和7年度診療車等の整備
事業の内容	病院救急車の更新
実施場所	高槻赤十字病院
完了年月日	2026年1月29日



LINE公式アカウントはじめました!

医療情報をはじめ管理栄養士によるおすすめレシピなど皆様の健康に役立つ情報をLINEでお届けします。二次元コードをスキャンして友だち登録してね!



LINE

高槻赤十字病院の理念

私たちは人道・博愛の赤十字精神に基づき、良質で安全な医療を提供し、地域の方々に信頼される病院となるよう努めます。

高槻赤十字病院の基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、患者さん中心の医療をおこないます。
2. 医療連携を密にし、地域医療に貢献します。
3. 常に向上心と研究心を持ち、最善の医療が実現できるように努めます。
4. 健全な病院経営と職員の働きやすい職場環境づくりに努めます。
5. 救急医療の充実を図り、赤十字の使命である災害救護活動に積極的に取り組みます。



日本赤十字社 高槻赤十字病院
Japanese Red Cross Society

〒569-1096 大阪府高槻市阿武野1-1-1
TEL 072-696-0571(代表)
URL <https://www.takatsuki.jrc.or.jp>
発行責任者 総合診療科部 部長 大中 玄彦